



第 72 号  
 発行人  
 福 井 県 剣 道 連 盟  
 理事長 河 越 純 二  
 事務局  
 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7  
 榎マルツ電波二の宮店 付属舎  
 TEL・FAX (0776)28-6616  
 メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

## 岩崎新会長のもと 平成二十三年度事業がスタート

去る三月二十日（日）および五月二十九日（日）に福井県剣道連盟の理事会・評議員会が開催され、平成二十三年度の事業計画、収支予算ならびに平成二十二年度収支決算の審議がなされました。

三月の理事会・評議員会において、土谷靖彦会長が三月末をもって勇退されることになり、岩崎貞夫副会長が新しく会長に就任、また、市橋和廣理事長の後任として、河越純二副理事長が理事長に選任されました。新会長就任に伴い、五月の理事会・評議員会では、中西雅夫監事が副会長に、参与の北野左京福井県学校剣道連盟会長が監事に、その他役員の一

部改選が承認されました。

岩崎新会長のもと、平成三十三年の事業を進めるとともに、平成三十年に開催が予定される福井国体に向けた準備や選手強化、法人化を目指した取り組みなど、本県剣道界のより一層の活性化を図るため、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

### 若狭町で三段以下の剣道形講習会、剣道段位審査会を実施

大飯地区剣道連盟からの要望を受け、今年度、若狭町において三段以下

下の剣道段位審査会および剣道形講習会を実施します。

段位審査会が五月八日（日）および二月十九日（日）、形講習会が四月十七日（日）および十二月十一日（日）の各二回です。嶺北地区と同日での実施になりますので、どちらかの会場を選んで受審してください。

### 初段の受審年齢が満十三歳からに

平成二十三年三月三十日に開催されました全日本剣道連盟評議員会において、「称号・段位審査規則の一部改正が承認され、初段受審資格がこれまでの「一級受有者で中学校二年生以上の者」から「一級受有者で満十三歳以上の者」に変更されました。

この改正を受け、五月の理事会・評議員会で審議した結果、福井県では、八月二十一日（日）に敦賀市中央体育館で開催する段位審査会から新受審資格で実施することで決定し

ました。年齢基準は審査日前日とします。

### 東日本大震災で被災した東北地方等の剣道連盟に全剣連から義援金一千万円

三月十一日に発生した東日本大震災で被災した宮城県、岩手県、福島県ほかの剣道連盟に対し、全日本剣道連盟が窓口となり全国の剣道連盟等から集まった義援金一千万円が拠出されることになりました。被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。



大会報告行事報告

第53回北信越

学生剣道選手権大会結果

▽男子個人

- 一位 久保田広行 (金沢大学)
- 二位 富田 成慈 (福井工業大学)
- 三位 内藤 洋 (金沢大学)



▽女子個人

- 一位 吉田 朱里 (新潟大学)
- 二位 北川 藍 (福井工業大学)
- 三位 長塚美加子 (金沢星稜大学)



第66回国民体育大会山口国体  
剣道競技成年男女福井県選手  
最終選考会 試合結果

五月二十二日(日) 午前九時から

福井県立武道館県道大道場において、第66回山口国体剣道競技成年男女の最終選考会が開催されました。

一月に実施された強化指定選手第一次選考会と四月に実施された一般選手第一次選考会で選考された各年代三名から四名の選手が、山口国体の選手目指して熱戦を繰り上げました。試合の結果、各部門で優勝した選手が国体の福井県代表選手として選考されました。成年男子は本国体での三回戦突破を、また、成年女子は八月の北信越国体で優勝し、本国体での三位以内を目指して、今後強化合宿、遠征を積み重ねます。

成年男子の部

- 先鋒 三井 卓也 (福井県警本部機動隊)
- 次鋒 鈴木 秀典 (福井県警本部機動隊)
- 中堅 松井 宏文 (敦賀気比高等学校・敦賀地区)
- 副将 堀江 範雄 (福井県警本部)
- 大将 西川 謙 (武生第三中学校・南条地区)

成年女子の部

- 先鋒 細川 理絵 (文化女子大学附属杉並高等学校ふさと選手)
- 中堅 高嶋 寿美 (福井南養護学校・福井地区)
- 大将 道内 由佳里 (福井工業大学・福井地区)



試合結果

成年男子  
先鋒の部

優勝 三井 卓也 (福井県警本部機動隊) 三勝

二位 金子 亮介 (福井地区剣道連盟) 二勝一敗

三位 西山 俊洋 (鯖江地区剣道連盟) 一勝二敗

四位 伊藤 心平 (福井県警本部機動隊) 三敗

次鋒の部

優勝 鈴木 秀典 (福井県警本部機動隊) 三勝

二位 中村 好伸 (福井地区剣道連盟) 一勝二敗

三位 畑 祐一郎 (鯖江地区剣道連盟) 一勝二敗

四位 西川 航平 (南条地区剣道連盟) 一勝二敗

中堅の部

(二位から四位は内容差)

優勝 松井 宏文 (敦賀地区剣道連盟) 二勝

二位 松永 毅 (坂井地区剣道連盟) 一勝一敗

三位 川村 信也 (福井地区剣道連盟) 二敗

副将の部

優勝 堀江 範雄 (福井県警本部) 二勝

(福井県警本部) 二勝

大将の部	三位	二位	優勝	中堅の部	五位	四位	三位	二位	優勝	先鋒の部	三位	二位	優勝	成年女子	三位	二位	優勝
	安原真紀 (坂井地区剣道連盟)二敗	谷口典子 (越前地区剣道連盟)一勝一敗	高嶋寿美 (福井地区剣道連盟)二勝	江南梓 (敦賀地区剣道連盟)四敗	北川藍 (福井地区剣道連盟)一勝三敗	伊藤愛子 (坂井地区剣道連盟)二勝二敗	山田聖子 (越前地区剣道連盟)三勝一敗	細川梨絵 (ふるさと選手)四勝	西川譲 (南条地区剣道連盟)二勝	柳澤峰生 (福井地区剣道連盟)一勝一敗	豊福安治 (坂井地区剣道連盟)二敗	小辻省一 (福井地区剣道連盟)一勝一敗	柳原潤一郎 (福井地区剣道連盟)二敗	西川譲 (南条地区剣道連盟)二勝	柳澤峰生 (福井地区剣道連盟)一勝一敗	豊福安治 (坂井地区剣道連盟)二敗	小辻省一 (福井地区剣道連盟)一勝一敗

### 平成二十三年年度福井県 高等学校春季剣道選手権大会

平成二十三年四月二十四日  
於 敦賀市立体育館

本大会は、男女団体戦のみで、ベスト4は六月の春季総体のシード権を得ます。今年度の本大会は男女共に本数差や代表戦など拮抗した試合が数多くみられました。試合の結果、男子団体は福井高校、女子団体は美方高校が優勝の栄冠を勝ち取りました。  
今年度の大会結果は、以下の通りです。

#### 【男子 団体】

福井	啓新	武生	藤島	二回戦	啓新	武生	藤島
3-2	3-1	1-0	3-2	二回戦	啓新	武生	藤島
金津	藤島	美方	羽水		藤島	美方	羽水

#### 【女子 団体】

丸岡	二回戦	武生東
4-0		武生東



福井高専	北陸	敦賀	若狭	敦賀気比(本数勝)	武生	三回戦	福井	北陸	敦賀	武生
2-1	4-0	1-0	1-0	2-2	2-1	三回戦	福井	北陸	敦賀	武生
武生東	福井農林	三国	科学技術	高志	丸岡	準決勝	福井	北陸	敦賀	武生
						準決勝	福井	北陸	敦賀	武生
						決勝	福井	北陸	敦賀	武生
						決勝	福井	北陸	敦賀	武生
							福井	北陸	敦賀	武生
							福井	北陸	敦賀	武生
							福井	北陸	敦賀	武生



武生	福井	北陸(本数勝)	敦賀	高志	二回戦	美方	福井	敦賀	高志	美方
5-0	3-0	2-2	4-0	4-0	二回戦	美方	福井	敦賀	高志	美方
金津	羽水	藤島	若狭	敦賀気比		準決勝	福井	敦賀	高志	美方
						準決勝	福井	敦賀	高志	美方
						決勝	福井	敦賀	高志	美方
						決勝	福井	敦賀	高志	美方
							福井	敦賀	高志	美方
							福井	敦賀	高志	美方
							福井	敦賀	高志	美方

平成二十三年度  
福井県インターハイ予選

男子団体ベスト8・女子個人決勝まで  
 六月三日 福井県立武道館  
 女子団体ベスト8・男子個人決勝まで  
 六月四日 福井県立武道館  
 男女団体決勝  
 六月五日 福井県立武道館

参加校  
 男子団体19校 個人184人  
 女子団体14校 個人102人

〈男子個人戦〉

優勝 増田 貴彦 北陸高校3年  
 2位 末本 和也 啓新高校2年  
 3位 宮本 和輝 敦賀気比高校3年  
 4位 杉本 陸 高志高校3年



〈女子個人戦〉

優勝 岡本 華奈 美方高校3年

2位 池田 奈央 美方高校3年  
 3位 遠藤 純 高志高校1年  
 4位 黒川友美子 丸岡高校3年



〈男子団体1回戦〉

△気比 1-3 啓新  
 △高専 0-2 三国  
 △福農 0-5 藤島

〈男子団体2回戦〉

△福井 0-3 啓新  
 ○美方 2-0 丸岡  
 ○武工 3-2 武生東  
 △金津 0-2 武生  
 ○北陸 2-0 三国  
 ○羽水 3-1 若狭  
 ○高志 3-0 科技  
 △藤島 2-2 敦賀

(代表勝ち)

〈男子団体準々決勝〉

○啓新 3-1 美方  
 △武工 0-5 武生  
 ○北陸 4-1 羽水  
 △高志 0-4 敦賀

1位 啓新高校(2年ぶり3度目)  
 2位 北陸高校  
 3位 敦賀高校  
 4位 武生高校



〈女子団体1回戦〉

○啓新 5-0 若狭  
 △金津 0-3 北陸  
 ○武生 1-3 敦賀  
 ○福井 4-0 武生東  
 ○気比 1-2 丸岡  
 △藤島 2-1 羽水

〈女子団体準々決勝〉

○美方 3-2 啓新  
 ○北陸 2-2 敦賀  
 △福井 3-1 丸岡  
 △藤島 0-3 高志

1位 福井工業大学附属福井高校(2年ぶり3度目)  
 2位 美方高校  
 3位 高志高校  
 4位 北陸高校



記入者 福井県高体連剣道専門部

岩谷 治彦 敦賀高校

決勝リーグ

	美方	高志	福井	北陸	勝敗	勝率	順位
① 美方	△	○ $\frac{3}{3}$	△ $\frac{4}{2}$	△ $\frac{2}{2}$	2	$\frac{9}{7}$	2
② 高志	△ $\frac{1}{1}$	△	△ $\frac{2}{2}$	○ $\frac{5}{2}$	1	$\frac{8}{5}$	3
③ 福井	△ $\frac{4}{2}$	○ $\frac{4}{3}$	△	○ $\frac{2}{2}$	2.5	$\frac{10}{7}$	1
④ 北陸	△ $\frac{2}{2}$	△ $\frac{3}{1}$	△ $\frac{1}{1}$	△	0.5	$\frac{6}{4}$	4

決勝リーグ

	啓新	敦賀	北陸	武生	勝敗	勝率	順位
① 啓新	△	○ $\frac{1}{4}$	○ $\frac{5}{4}$	○ $\frac{1}{4}$	3	$\frac{19}{12}$	1
② 敦賀	△ $\frac{5}{1}$	△	△ $\frac{2}{1}$	△ $\frac{3}{1}$	0.5	$\frac{10}{3}$	3
③ 北陸	△ $\frac{0}{0}$	○ $\frac{4}{2}$	△	○ $\frac{1}{4}$	2	$\frac{11}{6}$	2
④ 武生	△ $\frac{3}{1}$	△ $\frac{3}{1}$	△ $\frac{1}{1}$	△	0.5	$\frac{7}{3}$	4

女子個人決勝リーグ

	遠藤	黒川	岡本	池田	勝数	勝率	順位	氏名	高校名
遠藤	△	○	△	△	1	$\frac{1}{1}$	3	優勝	岡本 華奈 美方
黒川	△	△	○	△	1	$\frac{1}{1}$	4	2位	池田 奈央 美方
岡本	○	△	△	○	2	$\frac{2}{2}$	1	3位	遠藤 純 高志
池田	○	○	△	△	2	$\frac{2}{2}$	2	4位	黒川 友美子 北陸

【3位決定戦】 遠藤 ○ — 黒川 【優勝決定戦】 岡本 ○ — 池田

男子個人決勝リーグ

	増田	杉本	宮本	末本	勝数	勝率	順位	氏名	高校名
増田	△	○	○	○	3	$\frac{5}{3}$	1	優勝	増田 貴彦 北陸
杉本	△	△	△	△	0	$\frac{0}{0}$	4	2位	末本 和也 啓新
宮本	△	○	△	△	1	$\frac{2}{1}$	3	3位	宮本 和輝 氣比
末本	△	○	○	△	2	$\frac{3}{2}$	2	4位	杉本 陸 高志

## 第53回全国教職員剣道大会開催！

平成23年8月6日（土）に福井県立武道館において、第53回全国教職員剣道大会が開催されます。各都道府県代表による団体戦のほか、個人戦は「幼・義務制の部」「高・大・教委の部」、「女子個人の部」の3部門で争われます。

この大会での主な成績としては、第28回岐阜大会で遠山（旧姓白越）証子選手が女子個人第3位に、第36回三重大会で道内博道選手が個人小学校の部準優勝に、第47回熊本大会で山田（旧姓光永）聖子選手が女子個人第3位に入賞されています。

今年は地元開催ということもあり、選手一丸となって優勝を目指して強化に励んできました。当日はぜひ会場に足を運んでいただき、応援をお願いしたいと思います。）

本県代表選手は以下の通りです。

### 団体

- 先鋒：西 川 航 平（中央中学校）
- 次鋒：岩 谷 治 彦（敦賀高校）
- 中堅：澤 田 泰 治（今庄中学校）
- 副将：松 井 宏 文（敦賀気比高校）
- 大将：柳 原 潤一郎（丸岡南中学校）
- 幼稚園・義務制の部
  - 山 田 英 典（丸岡中学校）
- 高校・大学・教育委員会の部
  - 相 馬 友（福井工業大学）
- 女子の部
  - 山 田 聖 子（福井高校）

また、そのほかに、他県の代表選手として以下の選手が出場されます。本県出身者として、故郷での大いなるご活躍をお祈りしています。

- 石川県 団体戦：宮城島 優  
（三国中学校、藤島高校出身）
- 滋賀県 幼・義務の部：大蔵陽平  
（芦原中学校・藤島高校出身）
- 東京都 女子の部：細川梨絵  
（武生第二中学校、丸岡高校出身）



第三回全日本都道府県対抗  
女子剣道優勝大会県予選会

平成二十三年六月十二日(日)

於 県立武道館

第三回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会の県予選会が県立武道館で開催されました。先鋒の部については先に行われた県高校春季総体の個人戦優勝者が出場することになっており、次鋒、中堅、副将、大将の部に分かれて試合が行われました。チームを引っ張る大将の新井選手は「今年も頼もしいメンバーが出揃い、個人的には久しぶりの全国大会ですが、とても安心してイケそうな気がします。副将・高嶋さんの言葉通り、たくさん試合をしたいと思います。応援よろしくお願いします。」と意気込みをみせてくれました。  
七月十六日(土)に東京都の日本武道館で開催される同大会では一つでも多く勝ち上がれるよう健闘を祈ります。

試合結果

先鋒の部(高校生)

優勝 岡本華奈

(美方高等学校)

次鋒の部(大学生)

優勝 伊藤藍子

(国士館大学)

中堅の部

優勝 山田聖子

(福井工業大学附属福井高等学校教員)

副将の部

優勝 高嶋寿美

(県立福井南養護学校教員)

大将の部

優勝 新井洋子

(主婦 福井地区)

監督 道内由佳里

(福井工業大学附属福井高等学校職員)



第47回北信越高等学校剣道大会

平成二十一年六月十九日(土)

二十一日(日)

於 長野市 ホワイティング

男子個人の部

一回戦

黒川(高志) — メ中山(新潟高志)

木村(高志) — メ坂口(羽咋)

渡辺(福井) — メ森山(塩尻)

二回戦

末本(啓新) — メ塩谷(羽咋)

小出(敦賀) — コ小林(新潟明訓)

杉本(高志) — メ大河(富山第二)

宮本(敦賀気比) — メ西川(金沢桜丘)

渡辺(福井) — メ栢田(羽咋)

増田(北陸) — メ東(高岡工芸)

三回戦

小出(敦賀) — コ石山(佐久長聖)

末本(啓新) — メ内藤(新潟商業)

増田(北陸) — メメ大島(新潟第一)

女子個人の部

一回戦

柳原(啓新) — メ深口(新潟商業)

青木(美方) — メ澤田(星稜)

堀(高志) — メド古畑(長野商業)

二回戦

柳原(啓新) — メメ藤村(富山北部)

池田(美方) — メ浅井(金沢桜丘)

富永(福井) — メ丸山(新潟商業)

遠藤(高志) — メ鮒田(金沢桜丘)

堀(高志) — メ鎌倉(津幡)

岡本(美方) — メ山本(星稜)

三回戦

富永(福井) — メメ藤岡(金沢桜丘)

堀(高志) — メメ若林(新潟商業)

四回戦

富永(福井) — メ森田(星稜)

優秀選手

男子 増田 貴彦(北陸)

女子 堀 晴菜(高志)





**第59回全日本都道府県対抗  
剣道優勝大会結果(福井県)**

平成二十三年四月二十九日(祝)

於 大阪市中央体育館

**二回戦**

- 福井3 / 1 - 4 / 2 長崎
- 先鋒 小出 | メ 林田
- 次鋒 富田 × 渡邊
- 五将 中村ド × コ 城戸
- 中堅 相馬 × 竹田
- 三将 長谷川メ | 反メ 林田
- 副将 堤腰 × 前田
- 大将 西川メ | 平井

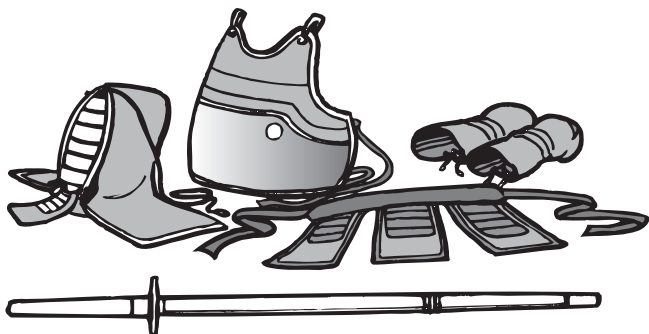
平成二十三年四月二十九日(祝)に大阪市舞洲アリーナにおいて、標記の大会が開催されました。本県選手団は、堀江範雄監督の指揮の下で二回戦に強豪長崎県と対戦しました。

先鋒(高校生の部)小出鷹太選手(敦賀高)は、立ち上がり一本かと思われる惜しい引き面を打ちましたが決まらず、終了間際に長崎県林田選手に、鏝競り合いから竹刀を払ったの引き面を決められ一本負けとなりました。次鋒(大学生の部)富田成慈選手(福井工大)は筑波大学のレギュラー渡邊選手と五分以上の試合を展開しました。しかし、決定打を打つことが出来ずに引き分けとなりました。五将(一般社会人三十九歳以下の部)中村好伸選手(福井刑務所)は、立ち上がりに鏝競り合いからの素晴らしい引き胸を決め一本先取しました。その後相手の攻撃を良く凌ぎ「一本勝」かと思われた残り五秒のところ、手元を挙げたところを城戸選手に小手を打たれ引き分けとなりました。中堅(教職員の部)相馬 友選手(福井工業大学)は、上段から相手を圧倒しますが、引き分けねらいで勝負に出来ない竹田選手に、一本を決めることが出来ずに引き分けとなりました。三将(警察官の部)長谷川峻右選手(県警機動隊)は立ち上がりに面に行き鏝競

り合いで少し気を抜いたところを林田選手に引き面を見舞われて一本先取されてしまいました。しかし、長谷川選手は二本目に入ると果敢に攻め、素晴らしい飛び込み面を決めて、勝負に持ち込みました。膠着した試合の鏝競り合いに入り際、林田選手が裏から長谷川選手の竹刀を払い上げると長谷川選手は竹刀を落とし、反則一回を宣告されました。終了間際にまた近間で、林田選手が同じ払いを出す、又も長谷川選手は竹刀を落としてしまい反則をとられ、相手に一本を与え負けとなってしまいました。副将(社会人四十歳以上四十九歳以下の部)堤腰一昭選手(アイビック警備保障)は、もう負けられない追い詰められた状況のなかで、冷静な試合運びを展開しました。終盤惜しい面と小手があり、審判の手がピクリと動く場面もありましたが、引き分けとなり、勝負が決してしまいました。大将(教士七段以上、五十歳以上)西川 譲選手(武生第三中学校)は大將平井選手の変則的な技をよく見切り、中盤に突きから面を放つとこの技が見事に決まりました。その後お互いに攻め手を欠き、西川選手が「一本勝」を収めました。

全日本都道府県対抗剣道優勝大会が新しいメンバー構成で開催されるようになり三回目となりますが、強

豪長崎県に善戦し、あと一步の試合内容だったことは、国体を目指し強化に励んでいる成果が少し現れてきた証であると確信しています。今後の本県選手の活躍を期待しています。



# 男子鈴木五段、嬉しい初優勝 女子山田四段、二連覇で五度目の快挙 福井県知事杯・第八回福井県剣道選手権大会

平成二十三年六月二十六日(日)  
於 今庄中学校体育館

剣道の福井県代表を決める福井県知事杯・第八回福井県剣道選手権大会が、六月二十六日(日)に、南越前町の今庄中学校体育館で行われました。梅雨の時期で気温と湿度が高く、厳しいコンディションではありませんでしたが、各団体や地区連盟から選ばされた男子四十名、女子三十名の選手たちにより、白熱したトーナメント戦が繰り広げられました。



出場した選手の平均年齢は、男子二六・九才、女子二四・四才で、特に、男子では六名の大学生、女子では二人の高校生が出場するなど、若さあふれる大会となりました。(↓大会トピックスへ)

開会式には、広部福井県教育長も出席。「来たる二〇三〇年の福井国体の開催に向け、選手の強化につながる大会となつて欲しい」と激励しました。

男子の部は、県警の活躍が目立ちました。ベスト4に残つたのは、相馬(福井地区)、鈴木、長谷川、前田(以上県警機動隊)の四選手。準決勝第一試合では、鈴木選手が、前年度覇者・相馬選手の上段の間合いを上手くかわしながら、時折引き技を放つ展開。そして延長に入ったところ、鈴木選手の突き一閃!見事に決まり初の決勝進出を果たしました。第2試合は手の内を知り尽くした機動隊同士の対戦とあつて、長谷川選



手、前田選手ともに互いの技を消し合いながら、延長戦へ。両者決め手を欠き、動きが止まったところを、長谷川選手の引き面が決まり、こちらも初めての決勝に進みました。

決勝戦は、機動隊の先輩後輩対決。日ごろから練習している者同士ということで膠着した試合になるかと思われましたが、技を思い切り出し合います。そして、開始二分を過ぎた頃、鈴木選手の引き面が見事に決まり、その後の長谷川選手の追撃を振り切つて、初優勝に輝きました。

一方、女子の部は、実力者が順当な戦いを見せ、ベスト4は、山田(福井地区)、高嶋(県学校連盟)、伊藤(国士舘大)、川合(福井工大)の四選手。準決勝第一試合は、山田・高嶋という昨年度決勝と同じカードとなりました。何度も対戦している二人とあつて互角の戦いのまま延長戦となりましたが、山田選手の得意の引き胴が決まり、決勝に進出。準決勝のもう一試合は、伊藤・川合の

十代対決です。序盤は、突き、面と伊藤選手が積極的に出でて、プレッシャーをかける展開。試合が進むにつれ、川合選手も攻勢に出て、五分の試合となります。そして延長十分過ぎに放たれた相面で打ち勝つた伊藤選手が二年ぶりに決勝進出を果たしました。

決勝は、前年と一昨年のチャンピオン同士の対戦。試合は、山田選手が引き技をタイミング良く出しながら、伊藤選手の攻めを上手く受けて、有効な技を出させません。そして、つば競り合いから、伊藤選手がついていこうとするところで、引き面を決め、見事2連覇を達成しました。山田選手は最近七年間で五度の優勝。すばらしい成績を残しています。

優勝した選手のコメントです。  
—鈴木選手「ただ、がむしゃらに戦つた結果が優勝につながつて、本当に嬉しい。勝因は、最後まで諦めなかつたこと。まだまだ未熟なので、警察で一生懸命稽古を積んで、全



た結果が優勝につながつて、本当に嬉しい。勝因は、最後まで諦めなかつたこと。まだまだ未熟なので、警察で一生懸命稽古を積んで、全



「日本に備えたい。」  
 — 山田選手「決して調子は良くなかったが、一定して自分のペースで剣道ができた。全日本女子では、昨年の経験を活かして上位進出を目指したい。」

鈴木選手は、十一月三日(祝)に日本武道館で開催される第五十九回全日本剣道選手権大会に、山田選手は、九月二十五日(日)に兵庫県で開催される第五〇回全日本女子剣道選手権大会に出場します。本県の代表としての活躍を期待しています。



最後になりましたが、大会の開催にあたりましては、地元南条地区剣道連盟の皆様、審判の先生方、スタッフの皆様にも多大なる御尽力をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

【成績】

男子の部

- 優勝 鈴木 秀典 (県警機動隊)
- 二位 長谷川峻右 (県警機動隊)
- 三位 相馬 友 (福井地区)
- 三位 前田 浩由 (県警機動隊)

女子の部

- 優勝 山田 聖子 (越前地区)
- 二位 伊藤 藍子 (坂井地区)
- 三位 高嶋 寿美 (県学校連盟)
- 三位 川合明日香 (福井地区)

編集EYE'S (大会トピックス)

～若さでアタック～

本文でも触れましたが、本大会は、若い選手の出場が目立ちました。男子の最年少選手は、福井地区の金子亮介選手(中京大・二十才)。「優勝を狙います」と話し、初出場ながら、1回戦突破を果たしました。(写真)



女子の最年少は、鯖江地区の富永夏帆選手(福井工大附属高・十七才)で、残念ながら初戦で敗れてしまいましたが、高校生らしい積極的な試合を見せてくれました。(写真)

この二人を含め、男子は大学生六名、女子は高校生二名、専門学校生四名、大学生九名が出場。今後の活躍が楽しみです。

# みんなの広場

## 剣道部・クラブ紹介

### 東洋紡剣道部

東洋紡剣道部は、正しく・強く・美しい剣道を修得する事を目標とし、稽古に取組んでいます。

上達の為には基本稽古が重要↓当時の一般稽古会は地稽古が中心で、基本稽古が出来ない↓じゃあ自分達で基本稽古をしよう。そのきっかけで始めた毎週土曜朝八時の稽古会は、今年で八年目を迎えました。部員が集まらない日もありますが、毎週参加して下さる敦賀市剣道連盟の皆さんに支えられ、現在に至っています。昇段する・試合に勝つ。部員を含め皆さん目指す所は違います。共通しているのは、「剣道が大好き」という気持ち。

同じ気持ちを持てる共有し合えるから切磋琢磨でき、昇段祝いだ反省会、たと何かと開催される飲み会では深夜まで剣道談義に華が咲きます。



### 龍昇館道場

龍昇館道場は年間を通して、小学生剣士を初心者、上級者に分けて毎週火曜日と金曜日の週二日間、指導に当たっています。

当教室では、剣道を通して子供たちに『礼儀』・『仲間』・『ルール』(決まり)を大切にし、他人に対する思いやりと、社会に対する感謝の念を育てる指導に努める事こそ剣道の本質であると考えています。



また、試合の勝ち負けにとらわれず、剣道の基礎を徹底して身につけ、その中で剣道の楽しさ、厳しさを感じてもらえるよう指導に当たっています。

毎月一回、卒業した中学生、高校生による合同稽古会を行ったり、三国剣道連盟との合同稽古を行ったりして、剣士たちのレベルアップを図っています。

代表 井上 恭男

◎稽古日・時間・稽古場所

毎週火曜日

19:30~20:15 (初心者)

毎週火曜・金曜

19:30~21:00 (上級者)

稽古場所 龍昇館道場

### 金井学園ジュニア剣道教室

金井学園ジュニア剣道教室は、小学一年生から六年生まで、総勢九名。毎週水曜と土曜日の週二回開講しており、今年で開講十年目を迎える。

当教室は金井学園が母体となっており、福井工業大学付属学校の中学・高校・大学の剣道部と同様に運営されている。

主に指導者二名に福井工大剣道部員数名という構成で指導にあたっている。現役の学生が指導にあたるのは他の教室をみても非常に珍しい。

時に大学の稽古の中に入っている場合もあり、お互い良い刺激を受けながら稽古に励んでいる。

当教室の基本は腹の底から大きい声を出すこと。この行為は自らを奮い立たせ、身体機能を活発化し「気

持ち」の入った動きができるからである。全ての動きに対して気持ちが入っていることが大切なのである。

どんな困難な状況であつても、またどんなに強い相手であつても、己に打ち克つ気持ちを持って向かっていけるよう創意工夫しながら指導している。

試合で勝利する喜びや負ける悔しさによつて学ぶことは多いが、勝負だけにとらわれてしまつてもいけない。礼儀作法を含め正しい剣道、正しい武道を伝える事が大事なのである。目先だけの勝利を目標に向かつていくのではなく、十年二十年後先を見据え人間として大きく成長できるように、その土台作りのひとつが当教室で学んだ剣道であつてよかつたと思われような存在でありたい。

### みはま少年剣道クラブ

みはま少年剣道クラブは、昭和六一年に青少年育成事業として敦賀警察署と美浜町教育委員会が、当時久々子にお住まいの武田徳男先生に指導を依頼されて発足致しました。現在



では町内の小学生八名が所属しており、少人数ではありますが、「忍耐」の旗の下、明るく元気に稽古に励んでいます。初心者が多く、稽古内容は基本打ちを中心に、一本一本を丁寧にした指導を行っております。

年間行事には、県内の大会への出場、保護者会主催のレクレーション、町内の清掃活動などがあります。楽しく剣道を続けながら、挨拶や礼儀作法などを身に付け、社会に貢献できる人間の育成を目指しております。



〈稽古日〉毎週水曜日

午後7時30分～8時30分

〈稽古場所〉美浜町総合体育館

〈指導者〉川尻宏和・石丸陽一朗・野瀬美智恵・高木裕和・深川優

(石丸 陽一朗 記)

### 足羽第一中学校剣道部

剣道部顧問 平本かほる 松井隆幸  
外部コーチ 竹下昌文

本校は福井市の東部に位置し、北は足羽川、南西には文殊の山を仰ぎ、東は旧美山町、南は鯖江市に接しています。校舎の四方は田園に囲まれ、広々とした環境が整っています。本校に在籍している生徒は六つの小学校を卒業した生徒がほとんどであり、素直で明るく元気のよい生徒ばかりです。気持ちの良い挨拶、落ち着いた雰囲気印象的な学校です。

現在、剣道部には三年生八名、二年生七名、一年生十二名、合計二十七名が在籍しています。ほとんどの部員が中学校から剣道を始めていますが、真面目に稽古に励み、初段を取得するまでに成長しています。活動時間は、本校体育館において週五回、一回二時間程度を基本としています。

また、三つの目標を基本に稽古に励んでいます。一つ目は「たくましい気力の育成」、目標に向かって進んで稽古に励み、困難にぶつかっても何とか乗り越えようと努力できること。二つ目は「清く美しい心の育成」、礼儀



正しい行動や感謝の気持ちを持って部員同士が協力し、励まし合っており、高い高め合うこと。三つ目は、「たくましい体力の育成」で、病気やけがに負けない強靱な体をつくり、運動能力を高めることです。

保護者のあたたかいご協力やご理解を支えとし、「一流の生徒」の育成の一翼を担うことができるよう尽力していきたいと思えます。

ご指導のほどよろしく願っています。

### 池田中学校剣道部

本校は、緑生い茂る大自然の中に立地している学校です。学校教育目標を「①自主的・意欲的に実践する力を身につける、②健康でたくましい体と、豊かな心を育てる、③地域を愛し、地域に貢献しようとする態度を育てる」の三つの柱とし、文武両道を目指し、勉強に部活動に日々精進しています。

本校剣道部は、一年生三名、二年生一名、三年生四名の計八名という少ない人数ではありますが、『県大会出場、県大会で予選突破』という大きな目標を掲げ、一人ひとりが考え工夫しながら校内にある格技室で毎日短期集中で稽古に取り組んでいます。全員が初心者ではありませんが、経験者に負けず、一本を決めると

いう強い気持ちを持って、日々の厳しい稽古にも取り組んでいます。また、部活を始める前に、部訓である『思念工夫』を全員で唱え、強い気持ちと目標を持って稽古に入るようにもしています。人数が少ない分、団結力があり、稽古以外の時は和気藹々としているのが特徴です。

生徒は、「剣道即生活、生活即修業」ということで、生活の一つひとつが剣道に通じるということ徹底して生活するようにもしています。

最初はなかなか実践できずに戸惑いも多かったようですが、文武両道で頑張る面が少しずつではありますが見えてきています。部活動だけを頑張るのではなく、剣道で身につけた力をいろいろな面で発揮できるように、多くのことに挑戦するようにもなっています。

今後とも保護者の皆様を始め、支えてくださる地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、精進していきまします。ご指導のほどよろしく願っています。





## 至民中学校剣道部

福井市の南西約三キロメートル。足羽山・兔越山、日野川に臨んで本校は位置します。

昭和二十四年に合併開校したの「旧至民中学校」校舎から、平成二十年四月に新校舎に移転しました。異学年型教科センター方式の学校として新規開校し、四年目を迎えています。

剣道部の創部時期については定かではありませんが、確認できる一番古い史実によると、昭和五年当時四一名の部員で活動していたことが分かりました。地域のスポーツ少年団に、江守の里剣道教室と福井南署剣道教室（現在は休止）があります。当時から小中の交流も盛んで、現在もスポーツ少年団の先生方を中心に合同稽古や合宿などが企画され、中学校の競技力向上はもちろん、地域の剣道発展に協力をいただいています。

今年度に入部員男女九名を迎え、現在部員数男子七名、女子七名と少数ではありますが、



基本打突を中心に日々の稽古に励んでいます。練習試合や合同稽古等の機会がありましたら、是非お誘いください。

## 北陸高等学校剣道部

本校は創立百三十一年目を迎え、来春には全国でも類を見ない巨大な総合体育館が完成し、剣道場も堂々とその一角を占めることとなります。創部百十年の歴史を持つ剣道部は、

戦後の剣道復興直後に再開し、昭和四十年に男子が、四十五年に女子がインターハイに初出場して以来男子が十九回、女子が十五回の出場を果たしました。諸先生方のご苦勞のあと昭和五十六年から私が顧問を受けついでおりますが、四百名近い卒業生の力が絶大であり、多くの北陸OBが地元で剣道普及に尽力しています。

毎日の稽古は午後四時に開始し、素振り、体捌き、基本打突練習に重点を置き、地稽古、懸かり稽古、打ち込み、切り返しと続き、六時半には終了します。試行錯誤を経て実に普通の内容に戻りましたが、その中で着実な進化を求めています。遠征回数は年数回に絞り、その準備期間を大切にしています。

面手ぬぐいに染め抜いた「振氣」の文字は、幕末の志士橋本左内の啓



発録から抜粋したもので、激しく、正しく、良心を充滿した北陸剣士の意気込みを表します。勉学面にも力を注ぎ、求められる人格、大いなる志をモットーに精進して参りますので、今後とも厳しくご指導を賜りますようお願い申し上げます。

藤塚 定之

## 美方高等学校剣道部

美方高校は、「文武両道」を教育方針の礎とし、地域に根ざした教育を目指して昭和四十四年に開学しま

した。剣道部は開学とともに故小堀源治郎先生（元福井県剣道連盟会長）を初代顧問に招聘して活動を始め、今年創部四十三年目を迎えます。その間、小西清光（福井県剣道連盟副会長）、田口五十二、西川謙、上下滋也、今井伸幸、中西泰平の各先生方を歴代顧問としてお迎えし、ご指導いただきました。現在は、江戸基紀、丸谷寛、堀真代の三名が顧問として活動しています。

活動は、基本的に週六回、「試合よりもまず稽古で」を基本方針として行っています。日頃の稽古内容も、切り返し、打ち込み、技術練習、地稽古、懸かり稽古といったオーソドックスなもので、基礎基本を重視したものです。これは、小堀源治郎先生が常に言っておられた「四恩」（父母の恩、師の恩、社会の恩、勝つて知る仲間の恩）を忘れることなく、剣道で受けた恩は剣道で返すことを大事に考えると、後輩あるいは次の世代に剣道を伝えていくためにはまず、きちんとした基礎基本が伝えられなければならないと考えるからです。

また、心と体を正しく使い、将来も剣道が続ける、あるいは何らかの形で剣道に携わるときに障害や弊害が出ない剣道を身につけることの必要性を強く感じながら、勝利を目指





途中で人間的な成長が見られればと  
 考えて日々稽古に励んでいます。  
 最後にりましたが、本校剣道部  
 は地域の方々の多大なるご支援を頂  
 いて活動しています。特に、旧三方  
 町では剣道が町技に指定され、小学  
 生の約半分が剣道をしている（十五  
 年前は約八割）という状況を底辺と  
 して、中学校が全国で活躍し、高校  
 でも頑張る（もつと頑張らねば）と  
 いう形となっています。今後も、日  
 常にお世話になつていらっしゃる方々、剣  
 道を通してご恩をいただいている方々  
 への感謝を忘れず、「目的は人間形  
 成、目標は日本一」を合い言葉に精  
 進してまいります。よろしくご指導  
 をお願いいたします。

### 剣道 称号段位合格者

#### 剣道段位審査会

平成二十三年五月八日(日)  
於 三方体育館

#### 「初段」

- 磯 邊 暢 (松陵中3年)
- 磯 部 滉 (松陵中3年)
- 山 本 零 司 (松陵中2年)
- 小 谷 良 介 (栗野中2年)
- 中 川 悠 哉 (栗野中3年)
- 緩 詰 正 成 (栗野中2年)
- 三 辻 颯 人 (栗野中2年)
- 杉 田 も も (角鹿中2年)
- 木 村 顕 子 (角鹿中2年)
- 田 崎 樹 理 亜 (角鹿中2年)
- 井 上 瑞 菜 (三方中2年)
- 青 池 真 優 (三方中2年)
- 新 田 美 優 (三方中2年)
- 大 南 恵 (三方中2年)
- 田 辺 紗 梨 奈 (三方中2年)
- 久 保 茜 (三方中2年)
- 川 口 美 月 (三方中2年)
- 今 井 直 人 (三方中2年)
- 中 西 雅 也 (三方中2年)
- 河 原 一 喜 (三方中2年)
- 志 賀 匡 佑 (三方中2年)
- 野 作 涼 (美浜中2年)
- 平 草 太 (美浜中3年)
- 田 城 勇 登 (美浜中3年)
- 田 邊 央 羽 (美浜中3年)

#### 「貳段」

- 玉 井 理 映 子 (美浜中3年)
- 青 野 圭 佑 (高浜中3年)
- 濱 村 佑 耶 (高浜中2年)
- 上 田 竜 也 (内浦中2年)

#### 「参段」

- 河 原 悠 真 (三方中3年)
- 小 西 智 裕 (三方中3年)
- 池 田 佳 樹 (三方中3年)
- 二 本 松 大 夢 (美方高1年)
- 坂 本 菜 子 (三方中3年)
- 鈴 木 香 菜 子 (三方中3年)
- 百 田 幸 真 (美方高3年)
- 松 村 春 香 (美方高3年)
- 中 西 由 貴 (保 育 士)

#### 「初段」

平成二十三年五月八日(日)  
於 福井県立武道館

- 前 川 知 哉 (足羽一中3年)
- 早 瀬 夏 貴 (足羽一中2年)
- 高 柴 慶 一 朗 (明道中2年)
- 吉 岡 唯 (藤島中3年)
- 蓑 輪 和 生 (大東中2年)
- 荒 川 兼 汰 (足羽一中2年)
- 北 川 寛 貴 (明道中2年)
- 笈 田 凌 介 (足羽一中2年)
- 宮 澤 由 依 (明倫中2年)
- 貫 間 春 圭 (大東中3年)

- 内 山 田 楓 (明倫中2年)
- 高 村 愛 里 (明倫中2年)
- 萩 祐 将 (至民中3年)
- 山 岸 汰 誠 (安居中2年)
- 安 野 圭 哉 (大東中2年)
- 榎 原 玲 央 也 (森田中3年)
- 田 治 駿 佑 (足羽一中2年)
- 村 上 幹 (明道中2年)
- 前 田 裕 紀 (大東中2年)
- 村 上 巧 (明道中2年)
- 廣 寄 真 由 (藤島中3年)
- 鈴 木 加 那 (森田中3年)
- 青 竹 未 峰 (明倫中3年)
- 三 澤 里 沙 (森田中3年)
- 荒 井 英 臣 (明倫中2年)
- 增 永 大 夢 (明道中2年)
- 久 保 瑛 (成和中2年)
- 岡 田 悠 貴 彦 (成和中2年)
- 牧 野 拓 実 (至民中2年)
- 森 雅 也 (森田中3年)
- 小 林 拓 未 (明倫中3年)
- 金 丸 嘉 秀 (松岡中3年)
- 中 田 隆 翔 (明道中2年)
- 早 川 太 悟 (明道中2年)
- 澤 田 響 (成和中2年)
- 小 林 自 然 (進明中2年)
- 伊 藤 拓 真 (森田中3年)
- 篠 島 崇 (附属中3年)
- 迎 田 真 由 (永平寺中2年)
- 奥 村 紘 生 (菅原中3年)
- 高 島 和 智 (春江中3年)
- 山 崎 大 智 (金津中2年)



# 鯖江市剣道連盟

会 長 小 形 権三郎

副 会 長 田 口 五十二

副 会 長 小 山 裕 生

副 会 長 藤 田 雄 治

鯖江市剣道連盟会員一同

アイテック株式会社  
代表取締役 会長 黒田 一郎  
(福井県実業団柔剣道連盟 会長)

**EYOTEC**

アイテック株式会社

アイテック株式会社  
代表取締役 社長 黒田 優

福井県鯖江市神中町 2-6-8 〒916-0016  
TEL 0778-52-8647 (代表)  
<http://www.eyotec.co.jp/>

# ペンリールー 女性剣士の部屋

高嶋 寿美

この度東日本広域にわたる地震の被害を受けられた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と被災された地位皆様のご健康と安全をお祈り申し上げます。

この度は掲載ありがとうございます。思いつきで書き綴ります。

小学三年生の時に思いつきで始めた剣道でした。これまで多くの先生方からご指導いただきました。今の自分があるのは先生方のおかげと感謝しております。心から感謝申し上げます。剣道人生、もうすぐ二九年になります。稽古嫌いと思われているようです。確かにそうかもしれませんが、自らの意思で続けているので、剣道はとつても好きみたいです。これまで国体や全国大会などの大会や講習会に参加させていただきました。その度に多くの女性剣士との交流がありました。時には剣道だけではなく、夜中までたらふくお酒をいただきながら踊りあかす交流もありました。人との交流が苦手な自分でも、女性剣士との交流はとても楽しくて止められないです。時には逃げ出したくなるようなこともあります。どれもこれも剣道がもたらしてくれた有意義な時間であることは間違いありません。これからも剣道を通してたくさん経験をしていきたいと考えております。でも一番は結果を残すことです。

最後に、福井県の女子剣道界がもっともつと強くなるように努力したいです。ねえ、山田さん。みなさんで一丸となつて高い意識と目標をもって全国大会で活躍したいです。みなさん頑張りましょう！！

## 平成23年8月～平成23年10月 事業計画

期 日	水～木 土	火～金 日	土～日 日	日～火 土
8 / 3～4 6 9～12 14 20 21 21 21 25 27 28 28 28	北信越中学校剣道大会 全国教職員剣道大会 第58回全国高等学校剣道大会 第44回奥越剣道大会 剣道 七段審査会 剣道 六段審査会 第24回福井県居合道大会 剣道段位審査会 第41回全国中学剣道大会 剣道 七段審査会 剣道 六段審査会 北信越国民体育大会 第40回福井県少年少女剣道錬成武生大会	富山県砺波市 県立武道館 青森県 大野市 石川県 石川県・沖縄県 県立武道館 中郷体育館 加古川市 福岡県 福岡県 長野県 越前市	北信越中体連 全学剣連 全国高体連 全剣連 全剣連 県剣連 県剣連 全国中体連 全剣連 全剣連 北信越国体事務局 県剣連共催	弘前市 多種目 午前9:00から
9 / 10～11 10 11 18 18 18 23 25 25	第38回居合道中央講習会 北信越合同稽古会 審判法講習会(全剣連) 第59回福井県剣道大会(一般) 第57回全日本東西対抗剣道大会 第6回全日本都道府県対抗少年優勝大会 第59回福井県剣道大会(中学生) 第50回全日本女子剣道選手権大会 居合道伝達講習会	京都市 石川県 県立武道館 県立武道館 山形県 大阪市 県武道館 兵庫県 越前市	全剣連 県剣連共催 全剣連 全剣連 大阪府剣連 全剣連 全剣連 全剣連	午前9:00から 午前8:00から 剣道大道場 9:00～16:00
10 / 2～4 4 8 9～10 15～18 22 29 30	国民体育大会 剣道形講習会 常任理事会 近県中学生剣道錬成大会 第24回ねりんピック剣道交流大会 第46回全日本居合道大会 県中学校秋季新人競技大会 剣道競技 剣道指導者講習会・合同稽古会	下関市 県立武道館 県立武道館 県立武道館 熊本県 愛媛県 敦賀市 敦賀市	日体協 県剣連 県剣連 県中体連 全剣連 県中体連 県剣連	午前9:00から 午後10:00から 中郷体育館 敦賀市武道館

【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2-3-7 (株)マルツ電波二の宮店 付属舎  
メールアドレス [fkikendo@herb.ocn.ne.jp](mailto:fkikendo@herb.ocn.ne.jp) TEL (0776)28-6616